



Junior Drive
Shiraishi Racing School

REPORT

報告書

8月 9日 (水) 岡国フォーミュラトレーニング

8月 31日 (木) 岡国フォーミュラトレーニング

2023 8 Aug





Junior Drive
Shiraishi Racing School

SPORTS KART



舞洲スポーツアイランド

Tommykaira

GARAGE38
Luce ed ombra

FTK corporation



PAINT BY
O.N.O.inc

III River inc.



AutoMotoSports-Games-Club

REPORT

8月9日（水） 岡国フォーミュラトレーニング



35°C

Track
OKAYAMA

Driver
Yuzuki Miura/Kamui Hashiramoto

レース前の調整

1期生の三浦柚貴(16)と3期生の柱本翔夢伊(12)が岡山トレーニングに参加しました。この日の天候は晴れ。雨の心配は無さそうです。

はじめに走行するのは3期生の柱本。ドライコンディションの岡国での走行はこれが初めてになります。スリックタイヤのグリップ感を確かめながら、少しずつペースを上げていきました。続いて三浦が乗り込みます。三浦は2週間後にここ岡国でのレースを控えており、それに向けての最後の練習となります。走り慣れたコースとマシンで、すぐに好タイムをマークしていきました。

その三浦の走りとデータを参考に柱本が2回目の走行へ入っていきました。先輩である三浦からのアドバイスをもらい、タイムも確実に削っていきました。続いて三浦がドライブ。摩耗して滑りやすくなったタイヤでも、ミスなく一貫性を保つトレーニングを行いました。

最後のセッションはコンディションの良いタイヤに履き替えてコースイン。まずは三浦がコースインしていきました。ここでマシントラブルが発生し、ストレートでのスピードが伸びない状況でしたが、自らプランを切り替え、レース前に少しでもマイレージを稼ぐことに集中しました。続いて柱本がこの日最後の走行へ。三浦の走行データを理解した上でドライブし、最後のラップではこの日の自己ベストタイムを記録し、良い形でこの日のプログラムを終えました。





Junior Drive
Shiraishi Racing School

SPORTS KART



舞洲スポーツアイランド

Tommykaira

GARAGE38
Luce ed ombra

FTK corporation



PAINT BY
O.N.O.inc

III River inc.



For Junior Drive Racing School

REPORT

8月31日（木） 岡国フォーミュラトレーニング



35°C

Track
OKAYAMA

Driver
Kamui Hashiramoto

走行マイレージを稼ぐ

3期生の柱本翔夢伊（12）が岡山トレーニングに参加しました。この日は1日中曇り空で、わずかに雨が降る難しいコンディション。

1セッション目がスタート。路面はドライコンディションでした。前回のトレーニングで見つけた自らの課題をクリアするための1日が始まりました。走り始めは非常に慎重に見えた柱本ですが、周回を重ねるごとにペースが上がってきました。後半は雨が降り始め、滑りやすい路面の中を走り切りました。

2セッション目が始まりました。雨は止みスリックタイヤでコースインしていきました。まだ雨はポツポツ来ているものの、完全に濡れるところまでは降らず。難しいコンディションでしたが無事にこのセッションを終え、データロガーを見直します。

この日最後のセッションがスタート。2セッション目で浮き彫りとなったブレーキングの踏力とシフト操作の改善に集中しました。路面も完全ドライコンディションとなり、ペースはどんどん上がっていきました。そして最後の数周で、自己ベストタイムを2秒近く削り、大幅に更新することができました。



三浦柚貴が国内フォーミュラレースに参戦！

1期生の三浦柚貴（16）が、国内のフォーミュラレースである“SUPER FJ OKAYAMA CHALLENGE CUP RACE 2023 Rd.5-6”へエントリーしました。三浦は今シーズンJAF限定Aライセンス獲得を目指すべく、韓国のレースシリーズへ参戦しており、この度すべての条件を満たしJAF限定Aライセンスを取得しました。これにより16歳（※本来は18歳〜）で、国内でのレースデビューが可能となりました。

初めて乗るマシン。人生初のニュータイヤ。三浦にとっての初めて尽くしの週末が始まりました。ライバル勢が木曜日から走行する中、三浦は資金難により金曜日からの走行を余儀なくされました。しかし雨の走り出しからいきなり2番手タイムをマークし周囲を驚かせました。そして土曜日の公式予選。初めて履くニュータイヤを丁寧に温め、タイムアタックへと入っていきました。18台中5番手タイムを記録し、まずまずの滑り出しとなりました。そして迎えた第1レース決勝。スタートはミスなく決め、5番手のまま1コーナーを通過していきます。1周目で4番手に順位を上げると前を行く2台に迫り続けます。トップの選手がフライングにより三浦を含む3台が争いがトップ争いとなりました。そのまま前に迫るもオーバーテイクはならず。それでもデビュー戦で堂々3位表彰台を獲得しました。

翌日の第2レースでは、4番手グリッドからスタートを決めるもバトルの駆け引きで経験豊富なライバル勢に抜かれてしまう展開となり、8番手まで順位を落としてしまいました。その直後に1台を交わし、さらに前の選手へアタックを開始しました。しかしセーフティーカーが導入されてしまい、周回数が大幅に減っていく展開に。残り4周のところでレースは再開されるも、前の選手を交わすことができず7位でレース2を終えました。

三浦は国内初戦で、レベルの高いライバル勢を相手にトップグループ争いができることを証明しました。まだまだバトルの駆け引きなど改善点はありますが、それでも純粋な“速さ”をアピールできたことは非常に大きいです。





DRIVERS PERFORMANCE

Yuzuki - MIURA (16)

国内でのレースデビューを果たした三浦。ここからが彼にとってのスタートラインです。まだまだドライビングの成長も著しく、吸収率の高い今こそ、レースから多くを学び本物のレーシングドライバーになってもらいたいです。



Kamui - HASHIRAMOTO (12)

岡国でのトレーニングにも次第に慣れてきた柱本。今の自分よりも速い先輩ドライバーと合同でトレーニングを行うことで、1期生2期生たちよりも少し早いタイミングで好タイムをマークして来ました。この1年が彼にとって大きく飛躍できるかどうかを決める期間となるのは間違いありません。



舞洲スポーツアイランド

Tommy kaira

GARAGE38
Luce ed ombra

FTK corporation



PAINT BY
O·N·O.inc

III River inc.



【トレーニングを終えて】

遂にスクール生から国内のレースに出場できるドライバーが誕生しました。

通常であれば、レーシングカートでキャリアを積み、多くのカートレースに出場し結果を残さなければ、取得ができない特別なライセンス。それを取得するには多くの時間と多額の資金を必要とします。

しかし1期生の三浦は、レンタルカートでキャリアをスタートさせ、シミュレーターで低コストで訓練を積み、早い段階からフォーミュラでのトレーニングを開始しました。そんな三浦のようなドライバーが、レベルの高いライバル勢を相手に、デビュー戦で3位表彰台を獲得できたことは、当スクールのカリキュラムでも十分戦えることを証明してくれました。

これから三浦がどこまで実戦で強く速いドライバーになれるのか。また彼に続く後輩たちの成長も楽しみです。

Junior Drive講師 白石勇樹





Junior Drive
Shiraishi Racing School



Junior Drive
Shiraishi Racing School

SPORTS KART



舞洲スポーツアイランド

Tommykaira

GARAGE38
Luce ed ombra

FTK corporation



PRO RACING DRIVERS



PAINT BY
O·N·O.inc

III River inc.



Performance Racing Group

